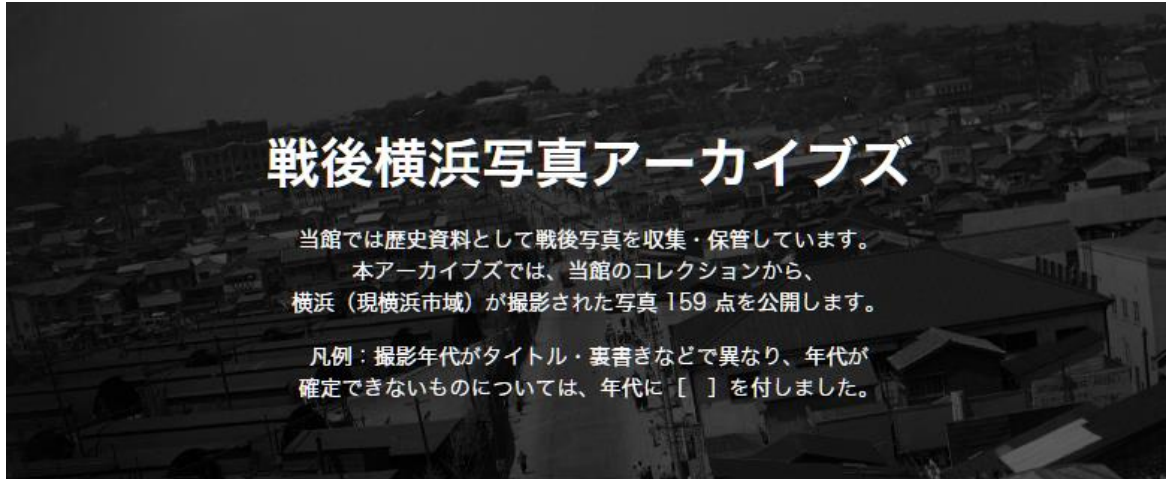


「戦後横浜写真アーカイブズ」のウェブ公開および プレス向け実物資料内覧会のお知らせ



来年 2025 年は戦後 80 年の節目の年に当たります。戦後の横浜は、港湾部や都市の中心地をはじめ、多くの地域が接収を受け、多数の占領軍が駐留する基地の町となりました。

この時代の横浜を多く撮影した代表的な写真家が、五十嵐英壽・奥村泰宏・常盤とよ子の 3 名です。3 名ともに占領軍兵士が闊歩する横浜の町の様子に加え、厳しい戦後を生きる市民の様子を撮影した作品の数々を生み出しました。これらの写真は、戦後横浜の影の部分に光を当てた優れた作品であり、芸術性のみならず、歴史資料としての価値も高く評価されています。

横浜都市発展記念館では、3 名が撮影した写真群の寄贈を受け、整理と調査研究を進めてきました。今回、公式ウェブサイト内の「戦後横浜写真アーカイブズ」で 3 名の代表作である 159 点の写真を公開します。戦後 80 年を経て記憶が薄れつつある戦後横浜の記憶に触れていただく機会となれば幸いです。

・一般への公開について

今回整理した資料は、**令和 6 (2024) 年 4 月 27 日 (土)** から公式ウェブサイト内の「戦後横浜写真アーカイブズ」で 3 名の代表作である 159 点の写真を公開します。

横浜都市発展記念館 戦後横浜写真アーカイブズ

<http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/sengo/photoarchives/>

・報道関係の方を対象に、実物資料内覧会を実施します。

今回ウェブ公開する資料について、**実物の写真資料の整理・調査を担当した調査研究員が解説**いたしますので、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

●プレス向け実物資料内覧会 概要

日時：令和 6 (2024) 年 4 月 24 日 (水) 14:00~15:30

会場：横浜開港資料館 講堂（横浜市中区日本大通 3）

担当：青木祐介（横浜都市発展記念館 副館長）、西村健（主任調査研究員）

***ご出席いただける方は、4 月 24 日 (水) 午前中までに別紙申込書をメールにてお送りください。**

※横浜都市発展記念館は 7 月 19 日まで休館中のため、会場は横浜開港資料館となります。

・戦後横浜写真アーカイブズで紹介する写真家

五十嵐 英壽

五十嵐英壽 (いがらしえいじゅ) 1931 (昭和 6) 年函館市生まれ。1952 (同 27) 年に神奈川新聞社に入社、写真部の記者として横浜港を中心に取材の日々を送る。1981 (同 56) 年から同社編集局写真部長、1985 (同 60) 年から同社川崎総局長を務める。1988 (同 63) 年に代表作となる写真集『横濱みなとの唄』を刊行。その他『横浜物語』(1993 年)、『出船入船横浜今昔』(2003 年)、『横浜港談私誌』(2007 年)、『いまも百舟百千舟』(2009 年) など作品多数。



奥村 泰宏

奥村泰宏 (おくむらたいこう) 1914 (大正 3) 年に燃料商の老舗、奥村商会 (西区) の家に生まれ、戦後、日本厚生団の活動に参加して社会事業に従事したのち、占領期の横浜市内の撮影を開始し、占領軍が闊歩する街並みのほか、「浮浪児」や「混血孤児」、「風太郎」など、戦後横浜の実相に迫る写真を多数撮影した。1995 (平成 7) 年逝去。奥村の写真群は、2018 (平成 30) 年に栗林阿裕子氏によって横浜都市発展記念館に寄贈された。



常盤とよ子

常盤とよ子 (ときわとよこ) 1928 (昭和 3) 年に神奈川区の酒問屋の家に生まれ、戦後、後に夫となる奥村泰宏と出会って写真家の道を志す。1956 (昭和 31) 年に「働く女性」展を開催して好評を博したほか、翌年には横浜の赤線地帯で働く女性達の姿をカメラに納めた写真エッセイ集『危険な毒花』がベストセラーとなり、戦後の女性写真家を代表する一人として注目を集めた。2019 (令和元) 年逝去。常盤の写真群は、2018 (平成 30) 年に常盤の姪にあたる栗林阿裕子氏によって横浜都市発展記念館に寄贈された。



※ 横浜都市発展記念館は、全館空調機更新工事のため、休館していましたが、**2024年7月20日(土)より再開館**いたします。再開館と同時に、パネル展「能登半島と横浜一銭湯がつなぐ人々の交流」を開催いたします。

お問合せ先

横浜都市発展記念館 TEL 045-663-2424

副館長：青木祐介 解説担当：西村健 広報担当：神谷量子

「戦後横浜写真アーカイブスのウェブ公開および プレス向け実物資料内覧会のお知らせ 内覧会 申込書

横浜都市発展記念館 解説担当：副館長 青木祐介 u.aoki@yokohama-history.org
主任調査研究員 西村 健 t.nishimura@yokohama-history.org
広報担当：神谷 量子 r.kamiya@yokohama-history.org
TEL：045-663-2424

プレス向け実物資料内覧会について

日時：令和6(2024)年4月24日(水) 14:00 ~ 15:30
受付開始 13:45~
会場：横浜開港資料館 講堂(横浜市中区日本大通3)

※横浜都市発展記念館は空調工事のため7月まで休館中です。
また、一般の方はお申込みいただけません。

出席します

(本紙は出席いただける場合のみ、令和6年4月24日(水)午前中までにご返信ください。)

貴社名

貴媒体名

ご担当者名

ご連絡先

電話番号：

メールアドレス：

ご参加人数

ご担当者様含め 名

撮影機材等の運搬車両の有無(駐車場に限りがあります)

有(台) ・ 無

- * ご記入いただいた個人情報につきましては、今回の内覧会以外に使用いたしません。
- * 上記時間以外の取材をご希望される場合はご連絡ください。